

令和8年度 第1回一関清明支援学校「公開講座」報告

令和8年度一関清明支援学校公開講座「病弱・身体虚弱児童生徒の理解と支援」を7月30日(木)に本校舎で開催しました。病弱教育の経験がある本校職員が講師を務め、校内・校外合わせて 11 名の先生方にご参加いただきました。

当日は、「病弱・身体虚弱の子どもへの理解」や「関係機関との連携」、「特別支援学校の進路指導」について紹介しました。

参加者の方からは、「児童の気持ちに寄り添いながら、安心して学校生活を送ることができるように支援していきたい」や「今後は、一人一人の発達段階に応じて、主体性や自立につながる支援を心掛けたい」、「一人一人に合った目標を設定し、できたことを適切に褒めることで、自信や安心感につながることを学んだ」などの声が聞かれました。

～講義の内容を一部ご紹介します～

講義①「病弱・身体虚弱児童生徒への支援」より

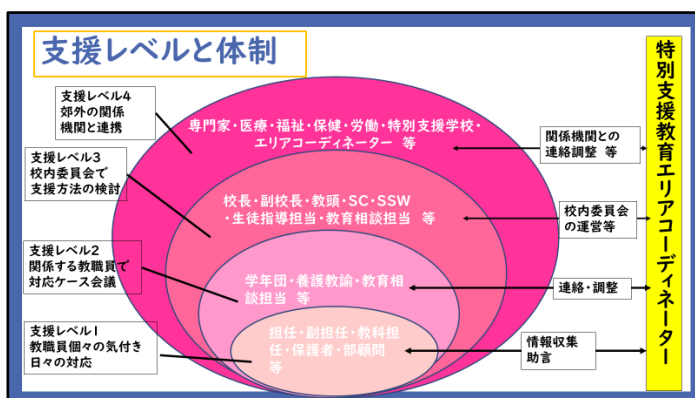
病弱である児童生徒への心のケア

病気の困難を乗り越えていくための
原動力(レジリエンス)の大切な要素の一つ

**自分のことを「気にかけてくれている人がいる」
「助けてくれる人がいる」と思えること**

- ◎ 継続的に声をかけ、「見ているよ」というサインを送ること。
- ◎ 児童生徒の気持ちに寄り添い「いつも近くにいるよ」というメッセージを送りながら接していくこと。
- ◎ わがままを容認することではなく、静かに根気強く児童生徒の話聞き、受容すること。

講義②「関係機関との連携」より



講義③「特別支援学校の進路指導」より

高等部における進路指導の目標

- 【1年】「知る」自分の長所や短所、働くために必要なことを知る。**
 - ・自分の性格や、得意・不得意を知る。
 - ・仕事に必要な体力をつける。
- 【2年】「確かめる」実際の職場で経験をつむ。**
 - ・様々な職業について学ぶ。
 - ・自分からあいさつ、報告、質問ができる。
- 【3年】「決める」卒業後の進路先を選択・決定する。**
 - ・社会人としてのマナーを身につける。
 - ・職場の人とコミュニケーションをとる。
 - ・作業速度を意識する。



【問い合わせ先】

TEL 0191-33-1600

担当:相談支援部・本校舎高等部 小山 聖佳